麻の里

令和8年 10 月5日　　発行第 336 号
発行所　岩島公民館
住所　　東吾妻町大字岩下 102 番地
TEL・Fax　67-2001
E-mail　　iwashima-s@town.higashiagatsuma.gunma.jp

回覧

防犯協会より　会費のお願い

日頃より、地域の防犯活動にご理解とご協力いただき厚く御礼申し上げます
防犯協会岩島支部では、繰越金額が多いことにより、令和3年度より会費の徴収を休止していました。事業実施するにも、厳選して経費の節減を考慮し行っていますが、繰越金や補助金の収入では今後収入予算の不足が見込まれるため、令和8年度より年間1世帯100円の会費の徴収の再開をお願いします。



防犯協会は、住民の防犯思想を高揚し、各種防犯や青少年の健全育成、非行防止に努め、事故のない明るい住みよい社会を実現ことを目的としています。
主な事業としては、防犯診断（パトロール）・防犯標語・防犯物品の配布・歳末夜警激励などです。
今後、区長さん班長さんを通じて会費のお願いをすることとなりますが、よろしくお願いします。

防犯協会岩島支部　支部長　小林　紀美義

秋の全国交通安全運動実施

9月21日(月)から30日(水)までの10日間、歩行者の安全確保を重点とした、秋の全国交通安全運動が実施されました。
期間中街頭指導は、矢倉駅前と岩島小学校入口で24日、30日の両日に通勤や通学の交通量の多い時間帯となる7時30分から8時頃まで、交通安全協会岩島支部の役員さんと岩下駐在所の駐在さん、岩島小学校の校長先生で行い、児童の通学時の安全確保をしました。



また、児童たちは元気な挨拶で通学していました。

公民館開放Day

住民の方の交流を目的として、公民館を開放しています。
のんびり読書を楽しんだり、友人と雑談を楽しんだり、趣味を楽しんだりと気軽にご利用ください。
日　時：10月27日(火)、11月17日(火)
　　午前9時～午後5時まで
場　所：岩島公民館　小会議室
その他：飲み物や食べ物は持ち込み自由です。

生活道路における法定速度の引き下げ

令和8年9月1日から、改正道路交通法施行令の施行により、主として地域住民の日常生活に利用されるような**中央線等がない生活道路**における法定速度が、

60km／hから30km／h

に引き下げられました。



（岩下駐在所）

小学校だより

「5年生麻ひき体験学習」

5年生が唐堀地区の神社を訪れ、「岩島麻保存会」の皆様にお世話になり、麻ひきの体験学習をしました。今年は、町のふるさと学習研究班の方の見学もあり、体験学習会場は昨年度より賑わっている感じがしました。

はじめの説明では、「岩島麻保存会」の会長様より麻はぎまでの工程の説明をしていただき、麻はぎ前に麻の温度を上げて寝かせる（ブルーシートで囲まれた）場所や麻はぎの実演を見学させて頂きました。

その後、麻ひきを行う建物に移動して、6カ所に分かれて先生に教わりながら麻ひき体験を行いました。自分たちの手で実際にやってみると、先生が簡単そうに行っている作業レベルの高さがより感じられたようで、先生方の作業の様子を「すごい。」や「（自分がやったものと比べて）すごくきれいになるね。」などの感想が聞かれました。

この体験学習で、今後の学習につながる感動をいただきました



こども園だより

「バルーンの演技」

こども園では、運動会でバルーンの演技をするために練習をしています。

薄手のビニール生地の「バルーン」と呼ぶシートの端を全員で持って、音楽に合わせて、子どもたち自身も動きながら、シートを広げたり、膨らましたり、揺らしたりと様々にシートを動かす演技です。

普通のダンスとはまた違う難しさがありますが、今の子どもたちは音楽に合わせて身体を動かすことが得意なので、何回か練習しただけですっかり上達しています。



📖新着図書のお知らせ

・スーパーマーケット宇宙

益田ミリ/著

スーパーマーケットは、私の小さな暮らしの巨大宇宙だった。買い物カゴと心の旅に出る。日常再発見コミックエッセイ。

・ひみつの森のオオカミ

ミリアム・ダーマン/著

オオカミには、秘密があった。森の真ん中の小屋に住む若い娘の歌に、心ひかれていた。美しい絵本と共に物語を堪能できる。

・永遠の記憶

東野圭吾/著

刑事が殺された。犯人は70歳ほどの老人。飛び降り自殺を図るも失敗し、取り調べには沈黙を貫く。やがて刑事に恨みを抱く若い女性が捜査線上に浮かぶ。

・ハヤブサ消防団　森へつづく道

池井戸潤/著

若い女性が我が子を残して川から水死体で発見された。消防団の一員として遺体の引き上げに関わった太郎は、事件の真相を探るうちに、町を揺るがす巨大な疑惑に巻き込まれていく。

・小栗の椿　会津の雪

加部鈴子/著

身重の妻、年老いた母、まだあどけなさの残る養女。小栗上野介の残された家族を守るため、決死の会津への逃避行、命をかけた戦いに挑む者たちの歴史青春小説。

館長のつぶやき…

40歳代、毎朝8kmジョギング。県内、東京青梅、長野小布施とハーフマラソン級に出走。50歳代になり、首、腰、膝痛。毎朝5kmのウォーキングとして、今も続けている。基礎体力は平均以上と思っていたが、昨年の富士登山では、全く役に立たなかった。年明けのTV番組で『60歳代以上、足腰の鍛錬が大切だ』と情報を得た。両手に 500mlのペットボトルを持ってのスクワットを朝晩継続。ウォーキング中の躓きも皆無となった。健康で遊び続けるために皆さんも是非！

